

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	自治会への加入取りまとめ依頼・加入受付	回	目標	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	加入者数	人	目標	6,200.00	6,200.00	0.00
			実績	4,868.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	民間等での実施でも可能。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間等での実施でも可能。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	一般的な手法ではある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	市職員が行う事務量が多い。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民全員が対象である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	保険を活用する内容もかなりあるので、ある程度の成果があがっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	毎年、継続的には進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市が行う事務量が多く（1月～3月）担当職員の仕事量が増加している。県民交通災害共済加入促進交付金が交付されているが人件費を考えると市の負担は大きい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
加入者にとっては、少ない掛け金で見舞金が支給されるので、加入促進を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	